

(ご参考) 認可外保育施設様向けアンケート調査 設問一覧

I 基本情報・施設の特徴について

Q1. 貴施設名を教えてください。

Q2. 施設の所在地を教えてください。（都道府県＋市町村）

Q3. 貴施設の連絡先電話番号を教えてください。

Q4. ご担当者名を教えてください。

Q5. 貴施設の設置主体をお答えください。【単一回答】

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 個人 | 2. 株式会社・有限会社 |
| 3. 社会福祉法人 | 4. 社団法人・財団法人 |
| 5. NPO 法人 | 6. 2～5 以外の法人 |
| 7. 任意団体 | 8. その他 |

Q6. 貴施設の類型をお答えください。【単一回答】

1. 事業所内保育施設（院内保育施設・企業主導型保育施設を除く）
2. 院内保育施設
3. 企業主導型保育施設
4. ベビーホテル（夜 8 時以降の保育、宿泊を伴う保育を常時運営）
5. ベビーホテル（一時預かりのこどもが利用児童の半数以上で常時運営している施設）
6. 認可外の居宅訪問型保育事業（ベビーシッター事業者）
7. 認可外の居宅訪問型保育事業（個人のベビーシッター）
8. その他の認可外保育施設（具体的に記載してください）

Q7. 貴施設の保育特性にあてはまるものをお答えください。【複数回答可】

1. 外国人又は外国につながるこどもが多い施設
2. 国家戦略特区制度特例措置活用施設（外国人乳幼児が多い認可外保育施設における指導監督基準の特例）
3. 早朝保育を行う施設
4. 夜間保育を行う施設
5. 宿泊を伴う保育・24 時間保育を行う施設
6. 病児・病後児に対応している施設
7. 特定の保育方針により運営している施設（モンテッソーリ・シュタイナー等）
8. 外国語教育を中心に保育を行う施設（インターナショナルスクール等）
9. 自然活動を行う施設（森のようちえん等）
10. スポーツ教育を行う施設
11. IT・プログラミング教育を行う施設
12. 保護者の就労状況に合わせ利用時間が大きく変動する施設
13. その他（具体的に記載してください）

Q8. Q7 で「その他」の場合の具体内容【記述】

Q9. 貴施設の利用児童・家庭の特徴として、比較的多いものをお答えください。【複数回答可】

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 認可保育所等を希望したが入所できなかった家庭 | 2. 早朝・夜間・不規則な就労の家庭 |
| 3. 一時的・緊急的な預かりニーズのある家庭 | 4. 外国人乳幼児又は外国につながる家庭 |
| 5. 医療的配慮や発達面で配慮が必要なこどもがいる家庭 | 6. 母国語での保育や外国語環境を重視する家庭 |
| 7. 保育の質・安全性を特に重視する家庭 | 8. 施設の活動雰囲気・保育方針への共感を重視する家庭 |
| 9. 特に偏りはない | 10. わからない |
| 11. その他（具体的に記載してください） | |

Q10. Q9 で「その他」の場合の具体内容【記述】

Q11. 現在、貴施設が地域で担っている役割・特色として当てはまると思うものをお選びください。【複数回答可】

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 地域の認可保育所に入所できないこどもの保育の受け皿 | 2. 柔軟な保育時間への対応 |
| 3. 一時預かり・緊急預かり対応 | 4. 外国人又は外国につながるこどもやその家庭への対応 |
| 5. 医療的配慮や発達面の配慮が必要なこどもへの対応 | 6. 外国語教育 |
| 7. 独自の教育・保育方針・理念 | 8. 自然・運動・芸術等の特色ある活動 |
| 9. わからない | 10. その他（具体的に記載してください） |

Q12. Q11 で「その他」の場合の具体内容【記述】

II 指導監督・基準適合に関する状況について

Q13. 認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書の保有状況をお答えください【単一回答】

1. 保有している
2. 取得に向けて対応中である
3. 保有していない
4. わからない
5. その他

Q14. 現在、指導監督基準への対応で特に負担が大きい、又は対応に難しさを感じることをお答えください。【複数回答可】

1. 職員数・人員配置
2. 保育士・看護師等の有資格者の確保
3. 職員研修の実施・受講
4. 施設・設備、保育室の面積、避難経路等への対応
5. 保育内容・保育計画、日々の記録への対応
6. 給食・調乳・アレルギー対応、衛生管理
7. 利用児童や職員の健康管理、感染症対応
8. 日常の保育の安全管理、安全計画、事故防止、睡眠中の見守り
9. 送迎・園外活動、自動車運行時の所在確認・安全確認への対応
10. 保護者への説明、契約書面、掲示・情報提供への対応
11. 帳簿・職員記録・児童記録等の整備
12. こどもの人権への配慮、不適切保育、虐待防止
13. 外国人や外国につながるこどもやその家庭への対応
14. 特に対応負担や、対応への難しさを感じない
15. わからない
16. その他（具体的に記載してください）

Q15. Q14 で「その他」の場合の具体内容【記述】

Q16. 指導監督基準への対応の負担が大きい、又は対応に難しさを感じることにについて主な理由は何ですか。【複数回答可】

1. 必要な職員数を確保することが難しい
2. 保育士・看護師等の有資格者を確保することが難しい
3. 職員の定着が難しい
4. 職員の研修機会を確保しにくい
5. 建物・設備面の制約がある
6. 建物・設備面の制約がある
7. 改善に必要な費用負担が大きい
8. 基準の解釈が分かりにくい
9. 書類作成・記録・事務対応の負担が大きい
10. 施設の特徴や利用ニーズとの両立が難しい
11. 保護者への説明や理解を得ることが難しい
12. 基準の内容や解釈が分かりにくい
13. 相談先や活用できる支援情報が分かりにくい
14. 特に対応に負担や難しさを感じない
15. わからない
16. その他（具体的に記載してください）

Q17. Q16 で「その他」の場合の具体内容【記述】

Q18. ここ 1～2 年で、指導監督基準への対応で難しさが増したと感じるものをお答えください。【複数回答可】

1. 職員数・人員配置の確保
2. 保育士・看護師等の有資格者の確保
3. 職員研修の実施・受講
4. 施設・設備、保育室の面積、避難経路等への対応
5. 保育内容・保育計画、日々の記録への対応
6. 給食・調乳・アレルギー対応、衛生管理
7. こどもや職員の健康管理、感染症対応
8. 日常の保育の安全管理、安全計画、事故防止、睡眠中の見守り対応
9. 送迎・園外活動、自動車運行時の所在確認・安全確認への対応
10. 保護者への説明、契約書面、掲示・情報提供への対応
11. 帳簿・職員記録・児童記録等の整備
12. こどもの人権への配慮、不適切保育・虐待防止
13. 外国人や外国につながるこどもやその家庭への対応
14. 特に変化はない
15. わからない
16. その他（具体的に記載してください）

Q19. Q18 で「その他」の場合の具体内容【記述】

Q20. 指導監督に関する行政からの支援で特に役立った／役立ちそうなものは何ですか。【複数回答可】

1. 基準を分かりやすく示した資料
2. 自己点検表・チェックリスト
3. 立入調査後の具体的な助言
4. 改善の優先順位や対応方法に関する助言
5. 好事例の共有
6. 研修・説明会
7. 電話・メール等での相談対応
8. 現場の実態を踏まえた個別助言
9. 人材確保や研修受講への支援
10. 設備改善への支援
11. 特になし
12. わからない
13. その他（具体的に記載してください）

Q21. Q20 で「その他」の場合の具体内容【記述】

Q22. 指導監督の方法や内容に関して、認可外保育施設の実態を踏まえ今後変更があると良いことは何ですか。【記述】

Ⅲ 保育の質・安全確保について

Q23. 保育の質の向上や安全性の確保のために、現在、貴施設で取り組んでいることをお答えください。【複数回答可】

1. 職員研修の実施・受講
2. 有資格者等の確保・育成
3. 職員の定着・働きやすい職場づくり
4. 保育内容・保育計画、日々の記録の充実
5. 日常の安全管理、安全計画、事故防止、睡眠中の見守り
6. 送迎・園外活動、自動車運行時の所在確認・安全確認への対応
7. 給食・調乳・アレルギー対応、衛生管理
8. こどもや職員の健康管理、感染症対応
9. 保護者との情報共有・説明
10. 記録・マニュアル・自己点検の整備
11. 外部機関・専門職・地域との連携
12. 外国人や外国につながるこどもやその家庭への対応
13. 医療的配慮や発達への配慮が必要なこどもへの対応
14. 柔軟な保育時間・一時預かり、利用者ニーズに応じた保育体制の整備
15. 施設の特色に応じた保育内容・環境の見直し
16. ICT の活用
17. 小学校等との接続・引継ぎ
18. 特にない
19. わからない
20. その他（具体的に記載してください）

Q24. Q23 で「その他」の場合の具体内容【記述】

Q25. 保育の質の向上や安全性の確保のために、今後さらに強化したいと考えていることをお答えください。【複数回答可】

1. 職員研修の実施・受講
2. 有資格者等の確保・育成
3. 職員の定着・働きやすい環境づくり
4. 保育内容・保育計画、日々の記録の充実
5. 日常の安全管理、安全計画、事故防止、睡眠中の見守り
6. 送迎・園外活動、自動車運行時の所在確認・安全確認への対応
7. 給食・調乳・アレルギー対応、衛生管理
8. こどもや職員の健康管理、感染症対応
9. 保護者との情報共有・説明
10. 記録・マニュアル・自己点検の整備
11. 外部機関・専門職・地域との連携
12. 外国人や外国につながるこどもやその家庭への対応
13. 医療的配慮や発達への配慮が必要なこどもへの対応
14. 柔軟な保育時間・一時預かり等・利用者ニーズに応じた保育体制の整備
15. 施設の特色に応じた保育内容・環境の見直し
16. ICT の活用
17. 小学校等との接続・引継ぎ
18. 特にない
19. わからない
20. その他（具体的に記載してください）

Q26. Q25 で「その他」の場合の具体内容【記述】

Q27. 貴施設の保育の特色を踏まえつつ保育の質の向上や安全性を確保するために大切にしていることは何ですか。【記述】

IV 外国人や外国につながる児童・家庭への対応について

Q28. 貴施設に、外国人又は外国につながる児童は、どのくらいいますか。【単一回答】

1. 利用児童の半数以上を占める
2. 一定数いる（半数未満）
3. ごく少数いる
4. いない
5. 把握していない

Q29. 外国人又は外国につながる児童やその家庭への対応に、どのような課題がありますか。【複数回答可】

1. 外国語でのコミュニケーション
2. 保護者への情報伝達方法
3. 文化の相違への配慮（食事や行事など）
4. こどもの気持ちや意図の把握
5. 安全面・衛生面の共通理解
6. 職員間での対応方針の共有
7. 卒園後の進学や日本社会への適応
8. 特に課題はない
9. わからない
10. その他（具体的に記載してください）

Q30. Q29 で「その他」の場合の具体内容【記述】

Q31. 外国人又は外国につながる児童やその家庭への対応で、現在行っている工夫をお答えください。【複数回答可】

1. 通訳や翻訳ツールを使用する
2. 母国語を織り交ぜたコミュニケーションを行う
3. 保護者への案内や説明資料を外国語で作成する
4. 外国語ができる職員を優先的に配置する
5. 食事・行事等で文化の違いに配慮する
6. 日本社会に適応しやすいような環境づくりを行う
7. 小学校や地域と情報連携している
8. 特に行っていない
9. わからない
10. その他（具体的に記載してください）

Q32. Q31 で「その他」の場合の具体内容【記述】

Q33. 外国人又は外国につながる児童の保育に関わる職員の確保・育成にあたり重視していることは何ですか。【複数回答可】

1. 外国語でコミュニケーションが取れること
2. 外国人乳幼児の文化背景への理解
3. 外国での保育・教育経験
4. 外国における保育・教育に関連する資格
5. 日本における保育士資格等
6. 安全・衛生・事故対応に関する知識
7. 研修受講歴（具体的に記載してください）
8. こどもや保護者との関わり方
9. 特に重視していることはない
10. わからない
11. その他（具体的に記載してください）

Q34. Q33 で「研修受講歴」の場合の研修の具体内容【記述】

Q35. Q33 で「その他」の場合の具体内容【記述】

**Q36. 外国人乳又は外国につながる児童がいる施設として、現在の工夫だけでは対応しきれていない課題点、または今後必要だと感じる支援があれば教えてください。
あわせて、課題や支援について、主に対象となる国・地域や言語（複数可）があればお書きください。**

Q37. 外国人又は外国につながる児童やその家庭向けに、卒園後の進路や接続に関するどのような対応を行っていますか。【複数回答可】

1. 保護者に対して進学先や進路に関する説明・相談を行っている
2. 日本の小学校等への進学を見据え、日本語環境への移行を意識した支援を行っている
3. 母国語・母文化の維持も意識した支援を行っている
4. 小学校等へ情報共有・引継ぎを行っている
5. 必要に応じて、他の保育施設や教育機関への転園・接続を案内している
6. 特に卒園後の進路や接続について対応は行っていない
7. わからない
8. その他（具体的に記載してください）

Q38. Q37 で「その他」の場合の具体内容【記述】

設問は以上です。